

		公表	保護者等からの事業所評価の集計結果					
事業所名		ごばんはうすくら名取教室						
		公表日 2026年 1月 20日						
		利用児童数 23人						
		回収数 23人						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1	0	1	・行事の時、少し狭いかなと感じる ・1階、2階に十分な活動スペースが確保されている ・ハッピーファミリールーム（参観日）で子供たちはのびのび走り回っている様子が見れました	既定より広い室内になっております。 行事など保護者様や利用人数が普段より多い時は狭く感じます。1階、2階を使用してイベントなども実施しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	0	1	0	・十分な数の職員さんがあり、危険にすぐ対応出来ている ・退職される方がいても、すぐに次の職員さんが入っている	既定より職員数を多く配置しております。 マンツーマン対応も出来るようにしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	0	0	1	・絵カード等で視覚的に分かりやすく工夫されている ・名前の隣に顔写真があるので、子供は分かりやすいと思います	お子さまの飛び出しや転倒が無いように室内は広く、絵カードなどを貼って視覚で分かるようにしています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	0	0	1	・こまめに手洗い出来て良い ・清潔で心地よい環境になっている	児発、放ディ、ホールなど部屋を分けて使用し、毎日2~3回の掃除をしております。消毒も日々して感染予防に気をつけています
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1	0	0	・要望を汲み取り、プログラムに組み入れてくれている ・こまめに個人面談をして頂けるので、子供の日常が分かりやすい	朝礼、終礼で毎日申送りをし、職員全員理解し共通支援出来るようにしています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	1	0	0	・支援プログラムと支援内容は合っている	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1	0	0	・面談の内容に沿って、計画を立ててくれている	保護者様とコミュニケーションを取り、日々お子さまの出来たことなどを共有しながら、支援計画を作成しています
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1	0	1	・具体的な支援内容になっている	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	2	0	1	・計画に沿った支援になっている	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	0	0	1	・四季や年間行事に応じて活動プログラムが工夫されている ・毎日違うことに取り組んでいるのが見て分かるので助かっています ・毎回新しいゲームや作品を考えていて、すごいと思います	1か月のプログラムは毎日違う内容にしており、利用者さんが飽きずに楽しめる療育を考え実施しています
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	17	3	1	2	・現時点では無い気がする ・郵便局に行くなど、経験が出来ている ・交流する機会があった ・インスタで、公園で一緒になった保育園の園児と遊んでいる様子を見ました	近隣保育所さんと公園で交流させて頂いたり、年に1回消防署見学、郵便局見学をさせていただき、地域の方と交流できる機会を設けています。ごばん通信やインスタで情報配信しておりますので是非ご覧下さい。利用日によって、全員の利用者さんが参加出来ていない場合もございます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	0	0	1	・丁寧な説明がされた ・丁寧な説明があったから、利用について大きな不安なく利用することが出来ています	契約時にご説明させていただき、ご署名を頂いております。ご不点があればいつでもお問合せ下さい。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	1	0	0	・計画を示しながら説明された	契約時、更新時期の面談でご説明させていただき、保護者様、本人の希望もお聞きし組み込んでいます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	1	2	0	・ハッピーファミリールームで交流があり、意見交換できている	お箸のトレーニングや、トイレトレーニング、声掛けの仕方など、事業所で使用している絵カードなどをご家庭でも使いいただけるよう作成し、一緒に取り組んだりしております。個別で対応しておりますので、ご希望があればいつでもご相談下さい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	2	0	0	・送迎時に活動内容について丁寧な説明がある ・気になることがあるとすぐに伝えてくれています ・送迎の際や連絡帳にとても丁寧に説明しててくれている	毎回送迎時、連絡帳などでお伝えし、保護者様とのコミュニケーションを大事にしております。お子さまの「出来た」を一緒に共有しています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2	0	0	・半年に1回面談があり、支援して下さっている ・常に教えてくれます（アドバイスなど）	半年に1度面談をさせて頂き、その他ご希望があれば随時面談や相談をさせて頂いています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	0	1	0	・子ども中心ではなく、職員中心の自傷癖を感じる。一方的な指示、伝達が多く、指摘も多々あり親はストレスを感じる。 ・障害について理解して下さり、助言も頂ける	日々の出来たことを保護者様へ共有出来るよう、毎日療育に取り組んでいます。ご不安がある場合はいつでも参観や面談も可能です。お気軽にお声かけ下さい。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	3	0	4	・保護者同士の交流や兄弟もプログラムに参加させていたことがあります ・動物園や運動会でご兄弟が参加しているのを見かけます	不定期で保護者様に参加いただく「ハッピーファミリールーム」を開催し、勉強会や将来について、障害についてなどお伝えしながら、保護者様同士交流出来る場を設けています。運動会、遠足などはご兄弟も参加出来ますので、是非ご参加下さい。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	0	0	1	・相談に迅速に対応して頂いている ・相談はいつもでも行える環境が整っている ・不安なことなど相談するとすぐに対応してくれています	ご質問やご相談があればすぐに対応するようにしています。いつでもお気軽にご相談下さい。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1	0	1	・意思の疎通が行えている ・毎回隔りに今日の状況を話してくれます	送迎時や連絡帳でお伝え忘れのないようにしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22	0	0	1	・LINEを通じて情報発信されている ・インスタに写真を載せて活動の様子などをあげてくれています ・インスタの更新を楽しみにしています	1週間に1度インスタグラムで活動の様子を配信するようにしています。是非ご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	0	1	0	・写真的顔をスタンプなどで隠し、保護されている ・インスタグラムやお便りの写真掲載のとき顔を隠してくれているので、十分です	個人情報保護法を職員全員に周知し、保護者様からも承諾書を頂き、十分留意しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1	0	2	・各種マニュアルが整備され、定期的に訓練が実施されている ・避難訓練で子どもはルールを覚えました	契約時にご説明させて頂いております。マニュアルに沿った訓練、研修も実施しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	0	0	1	・定期的に避難訓練が実施されている	月1回プログラムで避難訓練を実施しております。【地震】【火災】【水害】【不審者】消防署で水消火器の実施訓練も行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	1	0	1	・こどもの安全確保の計画があり、支援されている	契約時にご説明させて頂いております。ご不明点があればいつでもお問合せ下さい。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1	0	2	・怪我の説明が迅速に行われている ・事故・怪我がまだない	何かあれば迅速に対応させて頂いております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	1	0	1	・安心して通っている	お子さま、保護者様に安心して楽しく来て頂けるよう、取り組んでいます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	1	1	1	・楽しみに通っている ・毎日のように「こばんに行く？」と聞いてきます。とても楽しいようで安心しています ・はじめは嫌がることもあったが慣れてきて、事業所へ着くと「早く行こう」と手を引っ張るようになった ・毎日集団プログラムの内容を確認してから行っています ・利用日を楽しみにしております	毎日の活動を通して、メリハリをつけながら就学に向けて出来ることが増えるよう日々支援しています。楽しく来てもらえて嬉しいです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	0	0	1	・満足しております ・通うにつれて成長していると感じる場面が多くなってきているので満足しています	こばんへ来て良かったと言って頂けるよう、日々努力していきます。

事業所における自己評価結果						
事業所名		公表			2026年 1月 20日	
事業所名			ごはんはうすさくら名取教室			課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	
	2	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		物を床に置かず、イスなど置く際はマットなどで囲い危険のないように気をつけている。	
	3	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		毎日5～8名職員がいるようにしてたり、マンツーマン対応出来るようにしている。午前中は小さなお子様も利用しているので、職員数を増やしている。	
	4	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		全てに自分で分かるよう絵カードなどで可視化し、分かりやすいように工夫している。室内をゲートなどで仕切り、遊ぶスペースを分けている。	
	5	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		午前、午後と掃除機、消毒、換気など日々行っています。 活動終了時には丁寧に清掃を行っています。	
業務改善	6	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		児発、放デイ、ホールなど用途によって使い分けています。クールダウン出来るように個別対応も行っています。	
	7	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		入社時の研修や、年1回の会議などで職員全員で共有し、考えています。	
	8	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		職員会議や日報などで共有し、全員が周知し今後の改善も検討しています。	
	9	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		月1回職員会議をし、職員からの声を反映出来るようにしています。オープンなコミュニケーションが取れるよう環境づくりしています。	
	10	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		こはんはうすさくら本部とも共有し、業務改善につなげています。	
適切な支援の提供	11	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・本部開催の研修や、地域開催の研修に積極的に参加し、職員のスキルアップを図っています。 ・研修を受ける機会と、不明な点を確認する場があります。	
	12	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		年に一度プログラムを公表しております。HPに掲載しております。	
	13	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		面談前に事前アンケートを取り、ご希望に沿った支援計画を作成し、同意を頂いています。	
	14	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		職員間でアセスメントを行い、次期の目標も全員が関わって意見を出してもらい、計画に反映しています。	
	15	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		全員が周知し、毎日の朝礼終礼で目標の振り返りを行っています。	
	16	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		日々お子さまのモニタリングを行い、職員間で共有しながら記録をし、振り返りが出来るようにしています。	
	17	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		ガイドラインに沿った支援内容を反映し、設定しています。	
	18	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		毎月プログラムを全員関わって作成し、実施しています。	
事業所名			活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			毎日違うプログラムにし、固定化しないよう配慮しています。

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		集団療育をメインにプログラムで実施し、心理士などが個別計画に沿った活動を日々記録し支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・朝礼で毎日申送りをし、確認をしています。 ・常に情報の全体周知を心掛け、声掛けや連携に努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		終礼で毎日申送りをし、振り返りをしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		個人の記録表に個別目標など記録を取り振り返りが出来るように記載しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		児発管も支援に入り、職員と共有しながら振り返り、今後について日々話し合いをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児発管（管理者）や主任が参加し、担当者会議などでお子さまの様子をお伝えし、他者と共有しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		モニタリングや共有報告をしながら、連携しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		併用先、保育所、幼稚園、こども園などとも日々の送迎などで申送りをし共有をしながら、情報共有を図り、職員間で申送りをし周知しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		見学の引率や学校への連絡、共有など、相互理解を図っています。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9		モニタリングに来所した際、担当相談員さんと共有しながら、他のお子さんについても相談しています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9		近隣の保育所さんと公園で交流させていただき、一緒に遊ぶ機会を設けています。こばん通信やインスタグラムで様子を報告しています。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		保護者様からの相談や、気付いたことなどが合った際は帰りの送迎時にお伝えしたり、個別で面談などさせて頂き、共通理解を図っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		お箸やトイレトレーニングなど、相談があった方はこばんはうすでも取り組み同じ支援方法でやり、定着を図るようにしています。指示が入らない方にはこばんで使用している絵カードなどをお渡しし、ご自宅でも使用してもらうようにしています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約の際にお渡ししながら口頭でも説明させていただき、ご質問などないか確認しております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		計画作成前にアンケートの記載をお願いし、職員間でも共有しながら次期の個別計画を作成し、ご家族やご本人の意向を確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		面談時に計画を見て頂きながら、振り返り、次期目標についてお伝えし、同意を頂いています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		半年ごとの面談の他、日常的にお声掛けし相談や面談をし、助言と支援を行っています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	不定期で【ハッピーファミリールーム】を開催し、保護者様同士が集まるる場を設定し、障害についてや将来についてお伝えしたり、保護者様からの質問や交流できる場を設けています。イベントなどの際はきょうだいも参加してもらい、一緒に交流してもらっています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	電話やお手紙などで相談を受け、迅速に対応しています。必要であれば、保健センターなどとも共有し適切に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	毎月【こばん通信】を作成し月初めに全員に配布し、活動内容をお知らせしています。週に1度SNSで活動の様子を写真を添えて情報発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	書類関係は鍵付きの書庫で保管し、室内についても保護者様の同意を頂き、十分に留意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	個人情報や、通所を知られたくない方もいらっしゃるため、地域の方を室内へ入ってもらう活動は行っておりません。今後検討致します。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	保護者様へは契約の際にお見せしご説明しております。相談室へも置いて閲覧出来るようにしております。職員へも周知し、研修、会議など定期的に行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	定期的に訓練、会議など行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	てんかん発作の研修も受け、全員で対応出来るよう周知し、シミュレーションを行っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	現在対象者いないため行っておりません。対象者がいる場合は対応致します。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	安全計画を作成し、研修、訓練を定期的に実施し、研修記録も残しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	契約時に避難場所などについて説明を行い、地震などの際はLINEなどの情報ツールを使用し、避難場所の周知を行っています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	ヒヤリハットを率先して書くよう職員へ伝え、再発防止に向けた検討を行っています。月1回実施している職員会議でも振り返りしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	こばん本部の研修を全員実施し、その他地域で開催される研修へ参加し、全員が正しい知識を身に付け、適切な対応が出来るようにしています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	保護者様へは契約時に重要事項説明書を読み上げながらご説明し、了承いただいております。	